

# 古城址めぐり

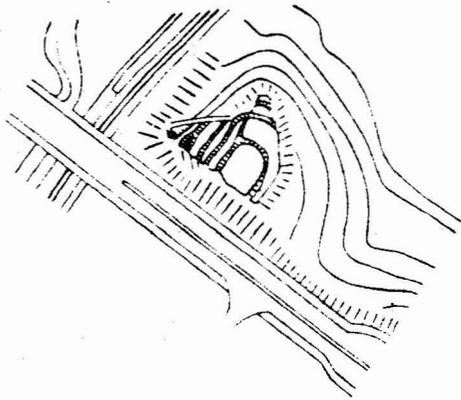
5

## 「越峠尾城」

越峠尾城は山陽本線嶺高陸橋東南の尾根上にありましたが、都市計画道路と藤掛ハイツ造成のため掘削され、全く旧状をとどめていません。

昭和五七年三月頃迄は、標高四七米の最高所の第一郭と第二郭の一部

越峠尾城址（昭和五七年頃）



0 50 100 M

、及び後世に削平されたと思われる段状の畑地が残されていました。

越峠尾城は中世の文書には見当らず、国郡志御用に付郡辻書出帳に七尾城の一つとして出てくるが、誰が居城していたのか不明です。

長尾の峯を横ぎる主要な場所であり、交通の要地を固めるために築城されたものか、又は藤掛尾城と関連のある中世の「七尾」と関係があるのかもしれない。

### 【芸備日報】記事より

明治一九年一月三日付

◎開道式 佐伯郡上平良村里道一等道路は今度改築その功を竣りたると以て本日開道式を執行さる右に付本社々員一名招きにより同式へ参会する筈なり。

(町史資料編に關連記事あり)

◎西洋構造 大手町二丁目へ或る金穴(いへ)が三階作の西洋作りの家を新築し西洋料理商を始めんと

て既に八百余円の料理器械を注文なしたりといふ。

明治一九年一月一四日付

◎道路改修 佐伯郡に属する国道の改修は費て服部長七が工事を受負ひ居りしが右の内海岸の道路は何れも人造石にて築き且つ道幅も従前よりは尅間半を拡めたり。

明治二一年一月七日付

◎道路 本郡宮内村字砂原より全村字汐見坂迄の県道②等道路の大修繕をなさんと全村有志者協議の上県庁へ実測の儀を出願したり其費用は村の内外にて寄附を募り余は地方税の補助を仰ぐ目算なるよし。

明治二一年一月九日付

◎道路 佐伯郡宮内村より石見長門へ達する道路は旧來艱難にして人馬通行も殆ど困却に來りしを明治十六年同村の武田敏恵氏が戸長たりし時同氏の尽力に依て大に開さくの事業を起し其以來ハ荷積車も